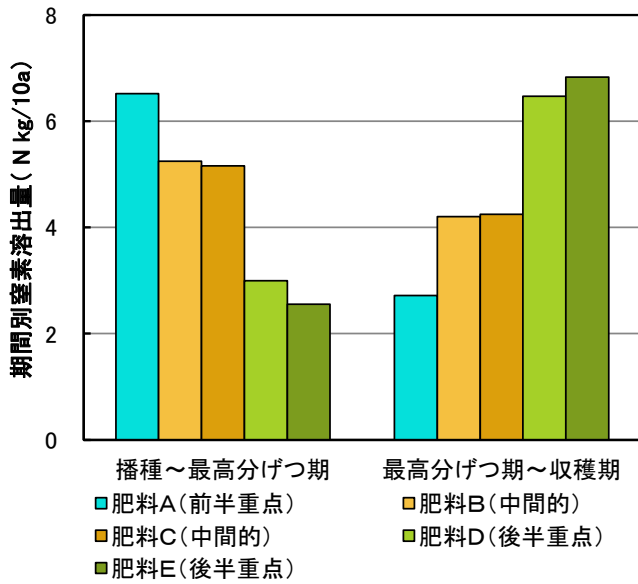
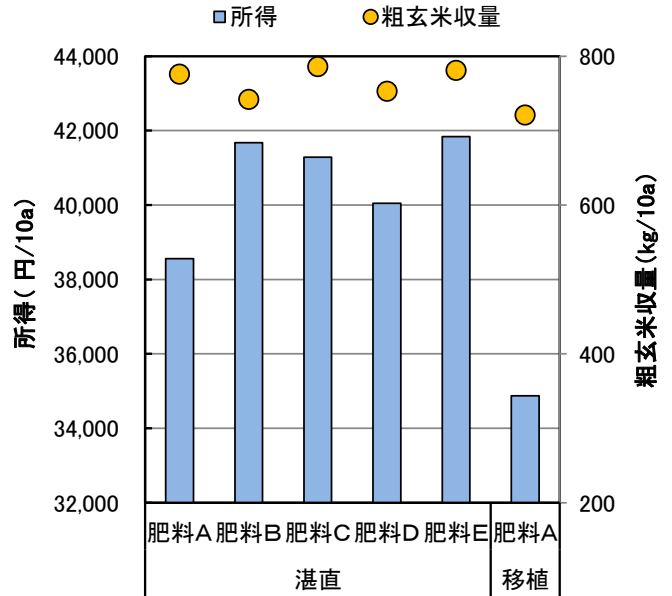


# 飼料用米「中生新千本」の 湛水直播栽培に適した全量基肥用肥料



肥料の窒素溶出量



肥料の種類が収量並びに所得に及ぼす影響

## 開発のねらい

「中生新千本」は飼料用米に適する多収品種で、より所得を高めるために省力・低コストで安定多収が可能な栽培法の導入が有効です。そこで、鉄コーティング湛水直播栽培における飼料用米に適する全量基肥施肥技術を開発しました。

## 新技術の概要

- 湛水直播栽培では、移植栽培に比べて、莖数が過剰になりやすく、また、根の分布が浅く倒伏の危険性が高いなどの特徴が明らかとなりました。
- これらの特徴から、本栽培法では後半重点型の肥料（D、E）が適しており、穂数を抑えて、一穂もみ数及び千粒重を増加させて、収量を600kg/10a以上に高めることができます。
- 所得は移植栽培に比べて10a当たり3,500～7,000円上回ります。

## 活用場面

この技術は飼料用米を対象としたものです。主食用米の湛水直播栽培では食味が低下するおそれがありますので注意してください。また、使用する肥料の特性は各地域の農業普及指導センターに確認ください。